

第 27 回 腸管出血性大腸菌感染症研究会 プログラム

9 月 1 日(月)

- 11:30- 受付開始
12:00-13:00 運営委員会(運営委員のみ参加) [小会議室 4 階]
13:00-13:05 開会挨拶 第 27 回研究会 世話人 小椋義俊

一般演題 I 13:05-14:45

座長: 高橋美帆 (同志社大学)

1. 13:05-13:25 **〇 抗原合成遺伝子群を 2 つ保有する腸管出血性大腸菌の解析**
〇坂倉 一騎¹、小高 優人^{2,3}、李 謙一²、伊豫田 淳²、井口 純¹
¹ 宮崎大学農学部、² 国立感染症研究所細菌第一部、³ 東京都立大学大学院理学研究科
2. 13:25-13:45 **野鳥由来 *Escherichia albertii* の病原関連因子と腸管定着性宿主間比較**
〇村木微香¹、桜井奏杏²、宮城貴充³、野原正勝¹、大内義光¹、嘉手苅将¹、清水寧乃¹、藤本真優¹、宇根有美⁴、宮嶋伸行⁵、成松浩志⁶、大岡唯祐⁷、小野文子¹
¹ 岡山理大、² NAS 研究所、³ 沖縄県・畜産課、⁴ どうぶつ疾病研究支援協会、⁵ 次世代生命科学研究所、⁶ 大分県衛研、⁷ 鹿児島大
3. 13:45-14:05 **泡沫濃縮法を用いた大淀川上流域における志賀毒素産生性大腸菌の分離およびゲノム特性の解明**
〇入口俊介¹、松山龍太郎²、奥野未来¹、玉井莊一郎²、伊東悠介³、竹本進³、小椋義俊¹、鈴木祥広²
¹ 久留米大・医・感染医学、² 宮崎大・院・農工、³ 建設環境研究所
4. 14:05-14:25 **STEC の主要な O 血清群における質量分析を用いた糖鎖型判別法の検討**
〇空 翔太¹、児嶋浩一¹、坂田淳子²、若林友騎²、西嶋駿弥²、関谷禎規¹、岩本慎一¹、田中耕一¹
¹ 島津・質量分析研、² 大安研・細菌課
5. 14:25-14:45 **質量分析法を用いたベロ毒素 A2 フラグメント検出法の検討**
〇児嶋 浩一¹、若林 友騎²、西嶋 駿弥²、坂田 淳子²、空 翔太¹、関谷 禎規¹、岩本 慎一¹、田中 耕一¹
¹ 島津・質量分析研、² 大安研・細菌課

休憩 14:45-15:00

一般演題Ⅱ 15:00-16:40

座長： 明田幸宏（国立感染症研究所）

6. 15:00-15:20 **GSK3 β -Src 軸依存的な Shiga toxin 2 の細胞内輸送経路がその個体強毒性を決定している**
○寺島 俊結、高橋 美帆、西川 喜代孝
同志社大学・院・生命医科学研究科
7. 15:20-15:40 **塩基性蛋白質プロタミン分解物を用いた EHEC 感染症治療薬の開発**
○前田来実¹、高橋美帆¹、寺島俊結¹、千田美紀²、千田俊哉²、西川喜代孝¹
¹同志社大学・院・生命医科、²高エネ機構・物構研・構造生物
8. 15:40-16:00 **手術介入を要した溶血性尿毒症症候群後消化管合併症の小児例の経験とその特徴**
○吉村翔平^{1,2}、大澤悠樹²、岡崎英人²、辻恵未²、服部健吾²、津川二郎²
¹兵庫県立こども病院小児外科、²愛仁会高槻病院小児外科
9. 16:00-16:20 **腸管出血性大腸菌における多細胞鎖形成機構の分子遺伝学的解析**
○小高優人^{1,2}、上村直輝³、岩瀬忠行⁴、李謙一²、石嶋希²、中根大介³、菅井基行⁵、菅原庸⁵、明田幸宏²、伊豫田淳²、EHEC Working Group⁶
¹都立大・理、²JIHS 感染研・細 1、³電通大、⁴慈恵医大、⁵感染研 AMR センター、⁶地衛研等
10. 16:20-16:40 **STEC 腸管感染マウスにおいて、脳概日リズム中枢で周期性発現に変化をきたす遺伝子群の解析**
○小幡史子¹、尾鶴亮²、田中将志³
¹鳥取大学医・細菌学、²福岡大学医・微生物・免疫学、³健康科学大学健康科学部リハビリテーション学科

休憩 16:40-16:55

協賛企業セッション 16:55-17:05

「腸管出血性大腸菌 関連製品のご紹介」

関東化学株式会社

「今こそ細菌培養不要の全ゲノム濃縮を始めてみませんか」

株式会社キアゲン

特別講演 I 17:05-17:55

座長：小椋義俊（久留米大学）

「腸管病原細菌の病原性機構と適応戦略」

長崎大学 熱帯医学研究所 細菌学分野 児玉 年央 先生

情報交換会 18:30-20:30

【会場】 ハイネスホテル久留米

〒830-0033 福岡県久留米市天神町 1-6

9月2日(火)

シンポジウム 9:00-9:45

座長: 小椋義俊 (久留米大学)

「重症例の原因となる腸管出血性大腸菌の特徴」

国立感染症研究所 細菌第一部

伊豫田 淳 先生

一般演題Ⅲ 9:45-11:05

座長: 楠本正博 (農研機構 動物衛生研究部門)

11. 9:45-10:05 **腸管出血性大腸菌 O157 clade 分類のためのリアルタイム PCR 法の確立**
○原田哲也¹、若林友騎¹、李謙一²、河合高生¹、伊豫田淳²
¹大阪健康安全基盤研究所、²国立健康危機管理研究機構
12. 10:05-10:25 **細菌ゲノム解析パイプライン(SNPcaster)の開発**
○李 謙一¹、森田昌知¹、伊豫田淳¹、泉谷秀昌¹、中村佳司²、山岸敏明¹、久保田寛顕³、木全恵子⁴、若林友騎⁵、野本竜平⁶、柿田徹也⁷、明田幸宏¹
¹国立感染症研究所・細菌第一部、²九州大学大学院 細菌学分野、³東京都健康安全研究センター、⁴富山県衛生研究所、⁵大阪健康安全基盤研究所、⁶神戸市健康科学研究所・感染症、⁷沖縄県衛生環境研究所・感染症研究センター
13. 10:25-10:45 **ナノポアリードのみを用いた全ゲノム配列比較による細菌検査方法の検討**
○中村佳司¹、柿田徹也²、大西真²、明田幸宏³
¹九州大学大学院・医学研究院・細菌学分野、²沖縄県衛生環境研究所・感染症研究センター、³国立健康危機管理研究機構・国立感染症研究所・細菌第一部
14. 10:45-11:05 ***E. coli* Og-typing PCR に追加された MP-26 と MP-27 について**
○井口 純¹、李 謙一²、伊豫田 淳²
¹宮崎大学農学部、²国立感染症研究所細菌第一部

休憩 11:05-11:20

一般演題Ⅳ 11:20-12:40

座長: 若林友騎 (大阪健康安全基盤研究所)

15. 11:20-11:40 **国内家畜由来 *Escherichia albertii* および *E. fergusonii* の薬剤耐性**
○楠本正博^{1,2}、玉村雪乃¹、桃木杏奈¹、岩田剛敏¹、渡部綾子¹、新井暢夫¹、大岡唯祐³
¹農研機構・動物衛生研究部門、²大阪公立大学院・獣医学研究科、³鹿児島大学・医歯学総合研究科

16. 11:40–12:00 **国内で分離された *Escherichia albertii* の進化系統およびゲノム特性**
○大岡唯祐¹、玉村雪乃²、桃木杏奈²、李謙一³、平井晋一郎⁴、伊豫田淳³、楠
本正博^{2,5}、*E. albertii* Working Group

¹鹿児島大・大学院医歯学総合研究科・微生物学分野、²農研機構・動物衛生研究
部門、³国立感染症研究所・細菌第1部、⁴国立感染症研究所・感染症危機管理
研究センター、⁵大阪公立大学・獣医学研究科
17. 12:00–12:20 ***Escherichia albertii* の環境内動態の解明に向けた野性アライグマおよび河川水
の保菌調査**
○日根野谷淳^{1,4}、田上綾²、Awasthi Sharda Prasad^{1,4}、徐炳婷³、畑中律敏^{1,4}、山
崎伸二^{1,4}

¹阪公大・院獣医・獣医国際防疫、²大府大・生命環境・獣医、³大府大・院生命環
境・獣医、⁴阪公大・大阪国際感染症研究センター
18. 12:20–12:40 **志賀毒素産生が変動する変異株の取得とマウスを用いた病原性評価**
○須藤直樹¹、北条史²、三戸部治郎¹

¹杏林大・医・感染症学、²杏林大・医・実験動物施設
- 12:40–12:55 若手奨励賞、奨励賞 表彰式
- 12:55–13:00 閉会挨拶 第27回研究会 世話人 小椋義俊